

外環に関する都の考えについて

第19回PI外環沿線協議会運営懇談会(平成16年1月29日)において、外環に関する東京都の考え方を示すべきと複数の協議員から要望がありましたので、現時点における考え方を述べさせていただきます。

- ・ 基本的には、これまで国とともに示してきた方針のとおりである。
- ・ 外環を含んだ三環状道路は、首都圏の渋滞解消、環境改善、ひいては都市再生にとって必要不可欠な道路であり、早期整備が必要である。
- ・ インターチェンジについては様々な意見が出されているが、高速道路の機能を発揮する上で、インターチェンジは欠くべからざるものである。都民にとっても、首都圏にとっても交通利便性が向上するよう、広く関係自治体や都民の意見を受け止めて検討すべきであると考えます。
- ・ 重複して計画されている地上部街路は、活力(人、ものの流れの円滑化)、安全(都市防災の強化、交通事故の減少)、環境(地域環境の改善、地球環境の保全、景観形成)、暮らし(質の高い生活環境の創出、公共交通との連携強化)の観点から必要と認識している。
- ・ 以上、これら外環計画の検討にあたっては、これまで通り、様々な意見を聞きながら検討し、計画を具体化していく必要があると認識している。